

2016
9/7 ^{10/30}
水 → 日

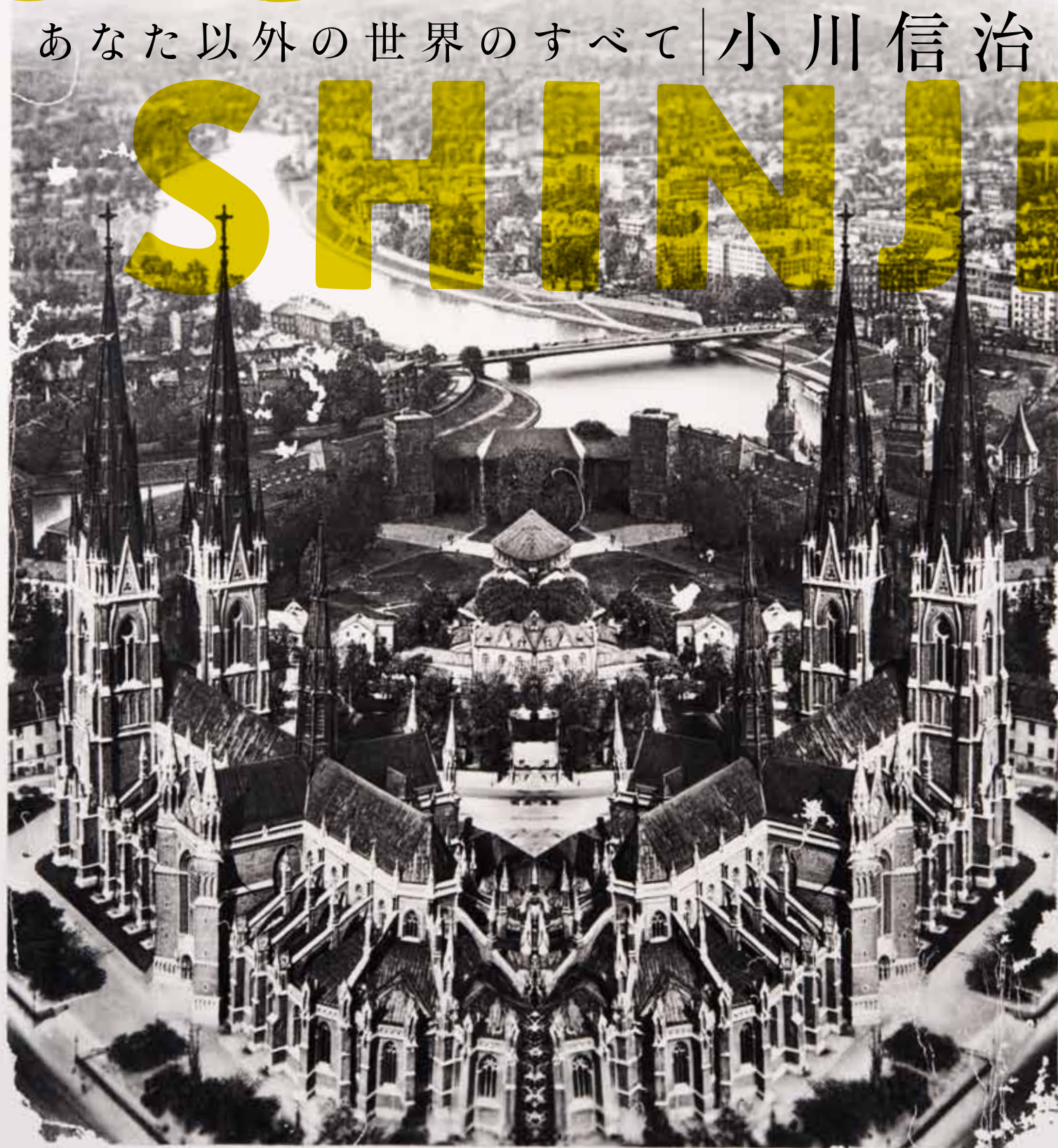
千葉市美術館 Chiba City Museum of Art
千葉市中央区中央3-10-8

開館時間=10時~18時(金・土曜日は20時まで) 入場受付は閉館の30分前まで 休館日=9月26日(月)、10月3日(月)
各展観覧料=一般700円(500円)、大学生500円(350円) ※小・中・高校生、障害者手帳をお持ちの方とその介護者1名は無料 ※()内は前売り、団体20名以上、
および市内にお住まいの65歳以上の方の料金 ※前売券は、千葉市美術館ミュージアムショップ(8月28日まで)、ローソクチケット[Lコード:****]、セ

OGAWA

あなた以外の世界のすべて | 小川信治

SHINJI



小川信治《ウブサラークラック》2013、スタンディングバイン版

開館時間=10時~18時(金・土曜日は20時まで) 入場受付は閉館の30分前まで
休館日=9月26日(月)、10月3日(月)
各展観覧料=一般700円(500円)、大学生500円(350円)
※小・中・高校生、障害者手帳をお持ちの方とその介護者1名は無料 ※()内は前売り、団体20名以上、および市内にお住まいの65歳以上の方の料金
※前売券は、千葉市美術館ミュージアムショップ(8月28日まで)、ローソクチケット[Lコード:****]、セブンイレブン[セブンチケット]、千葉都市モノレール「千葉みなと駅」「千葉駅」「都賀駅」「千城台駅」の窓口(10月30日まで)にて販売※10月18日(火)は「市民の日」につき観覧無料
主催=千葉市美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会協賛=ライオン、大日本印刷、損保ジャパン日本興



OKAZAKI

2016
9/7 ^{10/30}
水 → 日

千葉市美術館
Chiba City Museum of Art 千葉市中央区中央3-10-8

岡崎和郎 | WHO'S WHO | 見立ての手法

KAZUO

OKAZAKI

岡崎和郎 | WHO'S WHO | 見立ての手法

KAZUO

岡崎和郎(1930-)は、身の回りのものをモチーフとした、楽しく軽快なオブジェで知られています。1960年代より、「御物補遺」という言葉を指針として掲げ、「西洋では見落とされてきた物の見方を、東洋の見地から補足するようなオブジェ」を制作してきました。電球や人形など身近にあるものの内側を型に取ったり、偶然できた形に別なイメージを投影させるなど、岡崎のオブジェは、通常の視点から外れた時に現れる、物の思いつけない姿を示してくれます。

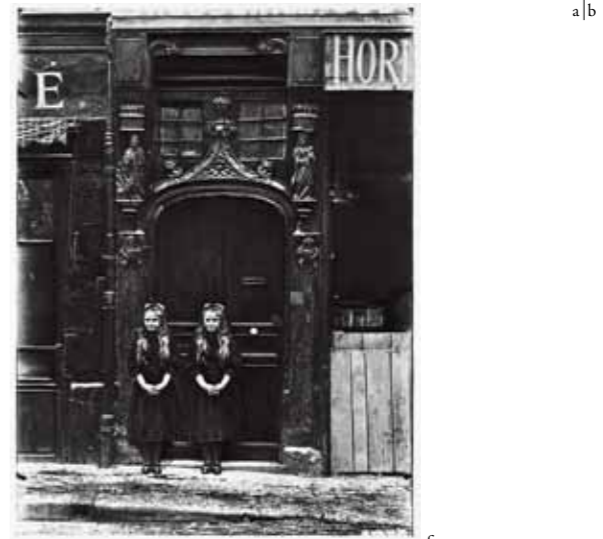
岡崎和郎の「Who's Who (人名録)」シリーズは、アーティストをはじめとするさまざまな人物(やその作品)から着想を得て制作された一群のオブジェです。60年代初期から現在にいたるまで作られ続けており、まさにこの作家のライフワークというべきシリーズと言えるでしょう。本展はシリーズの紹介を通して、半世紀を超える岡崎の仕事を概観します。さらに「Who's Who」にとりあげられた面々——ヨーゼフ・ボイス、ブランクーシ、ジョン・ケージ、チャーチル英元首相、コーネル、デュシャン、ジャコメッティ、樋口一葉、アングル、磯崎新、ジャスパール・ジョーンズ、葛飾北斎、河原温、宮本武蔵、マン・レイ、モンドリアン、ウィリアム・テル、仙居ら——の作品や資料をならべて展示することで、古今東西の人物たちと岡崎の世界観が巡り会い語り合う場をつくりだします。

SIMILARITY AND DIFFERENCE

小川信治(1959-)は「世界とは何か」をテーマに、西洋名画や観光名所など人々の見慣れたイメージを極めて精緻に改変し、重層的な世界の可能性を提示する作品を制作してきました。

レオナルド・ダ・ヴィンチやフェルメールといった誰もが知る名画を忠実に模写し、そこから中心となる人物を抜き去った「Without You」シリーズの制作を皮切りに、写真や古い絵葉書を元に人物や建物など同じモチーフを二つ並べて描き込む「Perfect World」、モン・サン・ミッシェルを思わせる形のなかに様々な国や時代の建築様式を組み込み、幾通りもの風景を現した「モアレの風景」など、油彩や鉛筆といった伝統的な技法を用いながら、多様なシリーズが生み出されました。精緻な描写力による多面的な表現は、各シリーズの要素が重層的に絡み合いながら、現在も展開を続けています。

首都圏の美術館において初の個展となる本展では、近年の新たなシリーズとして注目される「対称性／非対称性」に始まり、「Without You」、「連続体」、「Behind You」といった代表作を、国内未発表の新作・新作を交えてご覧いただけます。あわせて、一つの風景が層状に組み換えられ別の風景へと循環していく《干渉世界》、一つの形に複数の意味をもたせ、形が回転することで異なる意味が現れる《ピルエット》といった映像作品、さらには複数のメディアを組み合わせた新作インスタレーションまで、現在の小川による様々な試みをご紹介します。



a. 小川信治《絵画芸術—画家》2008、個人蔵
 b. 小川信治《絵画芸術—ミュージズ》2008、個人蔵
 c. 小川信治《アジェ・プロジェクト1》2004年、国立国際美術館蔵
 d. 小川信治《オーヴェールの教会2》2011年、作家蔵
 e. 小川信治《ウルビーノ公夫妻の肖像 パッティスタ・スフォルツァ》2006、作家蔵
 f. 小川信治《ウルビーノ公夫妻の肖像 フェデリコ・ダ・モンテフェルトロ》2007、作家蔵



a. 岡崎和郎《hear something...》1966、個人蔵
 b. 岡崎和郎《P.M. ボール》2005、個人蔵
 c. 岡崎和郎《瀧口修造—Arrow Finger (人名録より)》1968、個人蔵
 d. 岡崎和郎《タトリン—Giveaway Tower (人名録より)》1969/1972、個人蔵
 e. 岡崎和郎《ライトフルーツ》2007、個人蔵
 f. 岡崎和郎《明鏡止水》2006、作家蔵
 g. 岡崎和郎《A Sign》1974、富山県立近代美術館蔵
 h. 岡崎和郎《窓》1965、作家蔵/東京国立近代美術館寄託
 i. 瀧口修造/岡崎和郎《検眼圖》1977、千葉市美術館蔵
 j. 岡崎和郎《(****) ****、****》
 k. マン・レイ《贈り物》1921/1963、セゾン現代美術館蔵

THE WHOLE WORLD WITHOUT YOU



OGAWA SHINJI

あなた以外の世界のすべて | 小川信治

【小川信治展関連企画】

対談
 「タイトル(15~20字)」
 出演=小川信治、平芳幸治(京都工業繊維大学 美術工芸資料館准教授、司会進行=畑井恵(当館学芸員)
 日時=9月24日(土)14時より(13時30分開場予定)
 11階講堂にて
 先着150名(当日12時より11階にて整理券配布)聴講無料
 小川信治によるレクチャーの後、これまでの作品制作の歩みや、今回が初の試みとなる新作インスタレーション制作の過程などについて、国立国際美術館にて「小川信治展—干渉する世界—」(2006年)を企画担当した平芳幸治との対談形式で語ります。

市民美術講座
 「タイトル(15~20字)」
 講師=畑井恵(当館学芸員)
 日時=10月22日(土)14時より(13時30分開場予定)
 11階講堂にて
 先着150名/聴講無料

ギャラリートーク
 [担当学芸員による]日時=9月7日(水)14時より
 [ボランティアスタッフによる]会期中の毎週水曜日(9月7日を除く)14時より
 *水曜日以外の平日14時にも開催することがあります。
 *混雑時には中止する場合があります。

ワークショップ(事前申込制)
 「お・か・しな オブジェ」
 日時=10月2日(日)14時より/11階講堂にて/定員20名/対象=中学生以上/参加費500円
 「オブジェ」ってなんだろう。美術の世界で使われる言葉を、身近な素材から考えます。チョコ、キャンディ、クッキーにマシュマロ。お馴染みのお菓子を使って、見たことのないオブジェ作りに挑戦。最後はコーヒーを飲みながら、おかしなオブジェが並ぶ風景を楽しみましょう。申込方法=往復はがきまたはホームページからお申し込みください。往復はがきの場合は、郵便番号・住所・電話番号・氏名・希望のイベント名・参加人数(2名まで)・年齢を明記の上、〒260-8733 千葉市中央区中央3-10-8 千葉市美術館「イベント係」までお申し込みください。

さや堂ホール展示プロジェクト2016(仮)
 「星のみかた(仮)」
 会期=10月15日(土)→10月30日(日)10時~18時(金・土曜日は20時まで)
 観覧料=無料
 美術館1階「さや堂ホール」にて、植松琢磨による個展を開催。「宇宙」をテーマに制作したインスタレーション作品を発表します。会期中には、アーティストトークや対談イベント、ワークショップの開催を予定(詳細は当館ホームページにてご確認ください)。植松琢磨…1977年金沢生まれ、大阪府在住。多様な形象が立ち現れる幻想的なインスタレーション作品を国内外で発表。新しい生命の在り方を、様々なメディアと手法で表現している。

次回展予告
 「文人として生きる 浦上玉堂と春琴・秋琴—父子の芸術」



【交通案内】
 ■JR 千葉駅東口より
 ・徒歩約15分
 ・バスのりば⑦より大学病院行または南矢作行にて「中央3丁目」または「大和橋」下車徒歩約3分
 ・千葉都市モノレール県庁前方面行「霞川公園駅」下車徒歩約5分
 ■京成千葉中央駅東口より徒歩約10分
 ■東京方面から来るまでは、京葉道路・東関東自動車道で宮野木ジャンクションから木更津方面へ、貝塚IC下車、国道51号を千葉市街方面へ約3km、広小路交差点近く
 *千葉市中央区役所と同じ建物です。地下に区役所と共用の機械式駐車場がありますが、混雑時にはご不便をおかけすることもありますので、公共交通機関でのご来館をお願いします。

千葉市美術館
 Chiba City Museum of Art
 〒260-8733 千葉市中央区中央3-10-8
 043-221-2311 <http://www.ccma-net.jp>